

2013年3月期 第3四半期 決算補足資料

1. 連結決算の状況
2. 主な子会社の業績と予想
3. 主要製品売上の状況
4. 開発品パイプラインの状況

【参考資料】

5. セグメント情報
6. 業績と予想

2013年2月4日

キョーリン製薬ホールディングス株式会社

本資料に記載されている業績予想等は、現時点で入手可能な情報により判断した予想であり、将来の業績に影響を与える不確実な要因やリスクが含まれています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。



2013年3月期 第3四半期 決算概観(連結)

単位:(百万円)

	10年3月期 第3四半期	11年3月期 第3四半期	12年3月期 第3四半期	13年3月期 第3四半期	前年比	13年3月期 (予想)	前年比
売上高	74,579	75,821	77,413	79,229	2.3%増	107,800	4.4%増
営業利益	11,045	11,312	11,668	13,711	17.5%増	17,400	20.3%増
経常利益	11,860	11,848	12,358	14,288	15.6%増	18,000	17.8%増
当期純利益	7,537	7,535	7,227	9,262	28.2%増	11,800	27.8%増

13年3月期 第3四半期 連結業績(実績)

【売上高】 本年度4月に実施された薬価改定の影響がありましたが、主力製品のキプレス、ウリトス及び後発医薬品の売上が前年度を上回る実績で推移したことに加え、2012年10月1日に事業を開始したキョーリン製薬グループ工場(株)の売上が寄与し連結売上高は792億円(前年比2.3%増)の増収となりました。

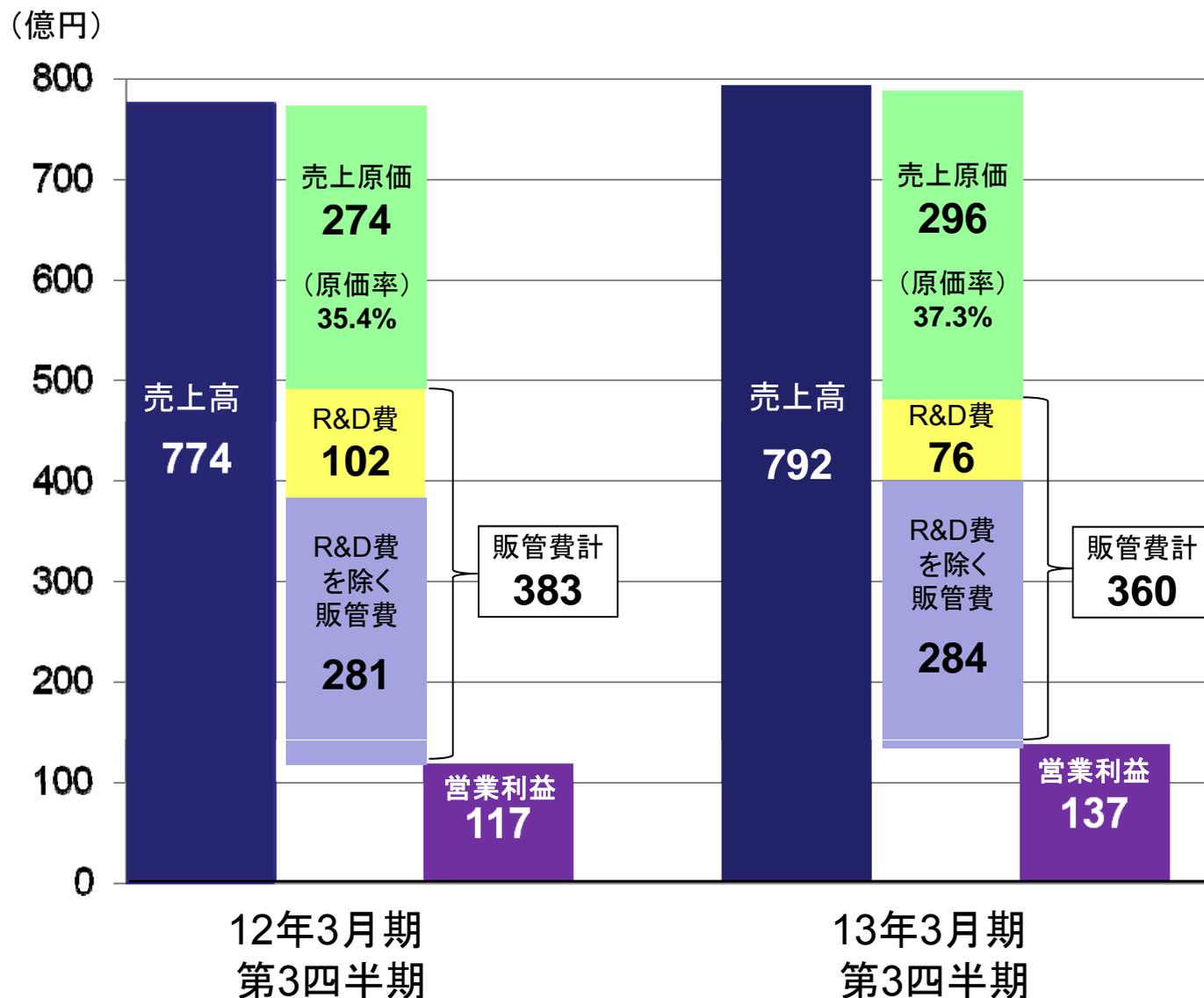
【利益】 売上原価率が上昇し、売上総利益は前年比でマイナスとなりましたが、販売費及び一般管理費(主に研究開発費)が前年に対し減少したため、営業利益は137億円(前年比17.5%増)、当四半期純利益は93億円(前年比28.2%増)となりました。

13年3月期 連結業績(予想)

【売上高、利益】 売上高および利益の業績予想は、2012年11月7日に公表しました内容を現段階で変更いたしません。

(予想に対する進捗度 売上高:73.5% 営業利益:78.8%)

2013年3月期 第3四半期 業績のポイント



ポイント①

- ◇売上高は前年比18億円増
 - ・新医薬品、後発品、一般用医薬品他
の売上増
 - ・キョーリン製薬グループ工場(株)の事業開始

ポイント②

- ◇売上原価は22億円増
原価率1.9ポイント上昇
 - ・薬価改定(杏林製薬(株):6%台)の影響
 - ・後発品の売上増加
 - ・キョーリン製薬グループ工場(株)の影響

- ◇売上総利益は前年比3億円減

ポイント③

- ◇販管費は前年比23億円減
 - ・R&D費は前年比26億円減

- ◆営業利益は前年比20億円増

2013年3月期 第3四半期 業績の状況

(単位: 億円)

	12年3月期 第3四半期	13年3月期 第3四半期	対前年
売上高(合計)	774	792	+18
医薬品事業	755	778	+23
◆新医薬品	660	668	+8
○国内	646	651	+5
○海外	14	17	+3
◆後発医薬品	65	77	+12
◆一般用医薬品他	30	34	+4
ヘルスケア事業 (スキンケア)	19	14	-5
営業利益	117	137	+20
経常利益	124	143	+19
四半期純利益	72	93	+21

■売上高	792億円	対前年 (+ 18)
◆医薬品事業	778億円	(+ 23)
●国内新医薬品	651億円	(+ 5)
12.3(3Q)実績	13.3(3Q)実績	
・キプレス	276 ⇒ 284	(+ 8)
・ムコダイン	160 ⇒ 146	(-14)
・ペンタサ	142 ⇒ 138	(- 4)
・ウリトス	48 ⇒ 57	(+ 9)
・2012年10月1日よりグループ工場の事業開始		
●海外新医薬品	17億円	(+ 3)
・ガチフロキサシン	12 ⇒ 14	(+ 2)
●後発医薬品	77億円	(+ 12)
・保険調剤薬局への売上および他社受託生産品の売上の増加		
●一般用医薬品他	34億円	(+ 4)
◆ヘルスケア事業	14億円	(- 5)
●ドクタープログラム(株)の売上減少		(- 5)
■営業利益	137億円	(+ 20)
◆営業利益率は17.3%と2.2ポイント上昇		
●売上原価：22億円増加(274億円⇒296億円)		
◆原価率: 35.4%⇒37.3% 前年比1.9ポイント上昇		
・上昇要因: 薬価改定(杏林製薬(株): 6%台)、後発品の売上増加、グループ工場の影響		
●研究開発費：26億円減少(102億円⇒76億円)		
◆研究開発費率: 13.2%⇒9.5% 前年比3.7ポイント低下		
・前年はペンタサ新用法Ph3終了およびKRP-104 Ph2bの費用化により増加		
●販管費(除R&D費)：3億円増加(281億円⇒284億円)		
■四半期純利益	93億円	(+ 21)

※グループ工場：キョーリン製薬グループ工場(株)の略

主な子会社の業績と予想

(単位: 億円)

杏林製薬(株)	12年3月期 第3四半期	13年3月期 第3四半期
売上高	703	713
営業利益	112	132
当期純利益	72	92

12年3月期	13年3月期 (予想)
937	964
140	171
93	118

キョーリン リメディオ(株)	12年3月期 第3四半期	13年3月期 第3四半期
売上高	71	78
営業利益	3	1
当期純利益	3	1

12年3月期	13年3月期 (予想)
96	105
3	3
3	5

ドクタープログラム(株)	12年3月期 第3四半期	13年3月期 第3四半期
売上高	19	14
営業利益	0	-2
当期純利益	0	-2

12年3月期	13年3月期 (予想)
26	21
1	-2
0	-3

2013年3月期 第3四半期 主要製品売上の状況

(単位: 億円)

		第2四半期		第3四半期				通期	
		12年3月期 第2四半期	13年3月期 第2四半期	12年3月期 第3四半期	13年3月期 第3四半期	対前年 増減率	通期 進捗率	12年3月期	13年3月期 (予想)
国内 新医薬品	キプレス (ロイコトリエン受容体拮抗剤)	157	163	276	284	+2.7%	74.5%	368	380
	ムコダイン (気道粘液調整・粘膜正常化剤)	91	83	160	146	-9.3%	72.2%	215	201
	ペンタサ (潰瘍性大腸炎・クローン病治療剤)	91	90	142	138	-2.8%	77.0%	180	179
	ウリトス(自社販売) (過活動膀胱治療剤)	29	36	48	57	+20.6%	72.9%	63	79
	ケタス (気管支喘息・脳血管障害治療剤)	18	15	27	23	-14.9%	76.4%	34	30
海外 新医薬品	ガチフロキサシン (バルク・ロイヤルティ含む)	8	9	12	14	+17.3%	83.3%	17	17
一般用 医薬品	ミルトン (哺乳びん・乳首消毒剤)	9	10	15	16	+9.4%	78.4%	19	20

開発品一覧①(2013年2月4日現在)

PhⅢ ~承認

※: 前回(2013年3月期 第2四半期)からの変更点はございません

開発段階		製品名・ 開発コード	薬効	起源	特徴	備考
国内	海外					
申請 (12年8月)		ペンタサ (坐剤)	潰瘍性大腸炎	スイス フェリング社	活動期潰瘍性大腸炎を対象とした新剤型 (1日1回投与)	新剤型の開発 PhⅢ終了(12年2月)
申請 (12年9月)	(アメリカ) スカイファーマ : 申請(09年3月) (欧州) ムンディファーマ : 上市(12年9月)	KRP-108 (吸入剤)	気管支喘息治療剤	イギリス スカイファーマ社	吸入ステロイド薬(ICS:フルチカゾン)及び長時間作用性β2刺激薬(LABA:ホルモテロール)の配合剤で利便性やコンプライアンスに優れる	スカイファーマ社とライセンス契約 (08年4月) 国内PhⅢ終了(12年3月)
PhⅢ (12年9月)	(欧州) アルミラール社 : 上市(12年9月) (アメリカ) フォレスト社 : <u>上市(12年12月)</u>	KRP-AB1102 (吸入剤)	慢性閉塞性肺疾患	スペイン アルミラール社	アセチルコリン受容体拮抗作用によりCOPDに伴う呼吸困難、息苦しさなどの諸症状を改善する長時間作用型ムスカリンM3拮抗剤(アクリジニウム) ①全身性副作用が少ない ②1日2回投与により1日を通じて症状、呼吸機能改善 ③最大効果発現までの時間が短い ※吸入器: Genuairを使用	アルミラール社とライセンス契約 (11年2月)

開発品一覧②(2013年2月4日現在)

POCプロジェクト(Ph I ~ Ph II)

※: 前回(2013年3月期 第2四半期)からの変更点はございません

開発段階		製品名・ 開発コード	薬効	起源	特徴	備考
国内	海外					
Ph II (12年5月)	(欧州) アルミラール社: Ph III (アメリカ) フォレスト社: Ph III	KRP-AB1102F (吸入剤)	慢性閉塞性肺疾患	スペイン アルミラール社	長時間作用型ムスカリンM3拮抗剤(LAMA: アクリジニウム)と長時間作用性β2刺激薬(LABA: ホルモテロール)の配合剤	アルミラール社とライセンス契約 (11年2月)
Ph II (11年8月)	Ph III メルツ社	KRP-209	耳鳴	ドイツ メルツ社	NMDA受容体拮抗作用及びニコチン作動性アセチルコリン受容体拮抗作用を有し、耳鳴に伴う心理的な苦痛、生活障害の改善が期待される	メルツ社とライセンス契約 (09年11月)
Ph I (10年12月)	Ph II (POC) (10年12月) ハルティス	KRP-203	自己免疫疾患 臓器移植 IBD	自社	S1P受容体アゴニスト。新規メカニズムを有する免疫調整剤。既存の免疫抑制剤に比べて安全性が高く、かつ優れた併用効果が期待される	ハルティスとライセンス契約 (06年2月) 新たなライセンス契約 IBD(10年11月)
Ph I (11年8月)		KRP-AM1977X (経口剤)	ニューキノロン系 合成抗菌剤	自社	①薬剤耐性グラム陽性菌(MRSAを含む)に対して優れた抗菌力 ②優れた体内動態(経口吸収、組織移行) ③前臨床試験で安全性はクリア、高い安全性を期待	
Ph I (12年7月)		KRP-AM1977Y (注射剤)	ニューキノロン系 合成抗菌剤	自社		

参考資料

2013年3月期 第3四半期 セグメント情報

(単位:億円)

	売上高		セグメント利益	
	金額	対前年	金額	対前年
売上高(合計)	792	+18	137	+20
医薬品事業計	778	+23	138	+23
◆新医薬品	668	+8		
○国内	651	+5		
○海外	17	+3		
◆後発医薬品	77	+12		
◆一般用医薬品他	34	+4		
ヘルスケア事業計	14	-5	-2	-2
調整額	—	—	1	-1

(注)「セグメント情報等の開示に関する会計基準」及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」を適用し、報告セグメントは【医薬品事業】【ヘルスケア事業】としております

2013年3月期 第3四半期 業績と予想(連結)

(単位:百万円)

	第2四半期		第3四半期					通期	
	12年3月期 第2四半期	13年3月期 第2四半期	12年3月期 第3四半期	13年3月期 第3四半期	対前年 差額	対前年 増減率	通期 進捗率	12年3月期	13年3月期 (予想)
売上高	46,387	47,954	77,413	79,229	+1,815	+2.3%	73.5%	103,232	107,800
医薬品事業	45,155	47,034	75,495	77,845	+2,350	+3.1%	73.6%	100,654	105,700
◆新医薬品	39,098	39,684	65,996	66,755	+758	+1.1%	73.3%	88,011	91,100
○国内	38,129	38,661	64,562	65,063	+501	+0.8%	73.4%	85,995	88,600
○海外	968	1,023	1,434	1,691	+257	+18.0%	67.6%	2,015	2,500
◆後発医薬品	4,097	5,056	6,450	7,707	+1,256	+19.5%	75.6%	8,656	10,200
◆一般用医薬品他	1,959	2,292	3,047	3,382	+335	+11.0%	76.9%	3,987	4,400
ヘルスケア事業	1,232	920	1,918	1,383	-534	-27.9%	65.9%	2,577	2,100
営業利益	4,900	6,269	11,668	13,711	+2,043	+17.5%	78.8%	14,464	17,400
経常利益	5,253	6,609	12,358	14,288	+1,930	+15.6%	79.4%	15,275	18,000
当期純利益	3,355	4,295	7,227	9,262	+2,035	+28.2%	78.5%	9,231	11,800